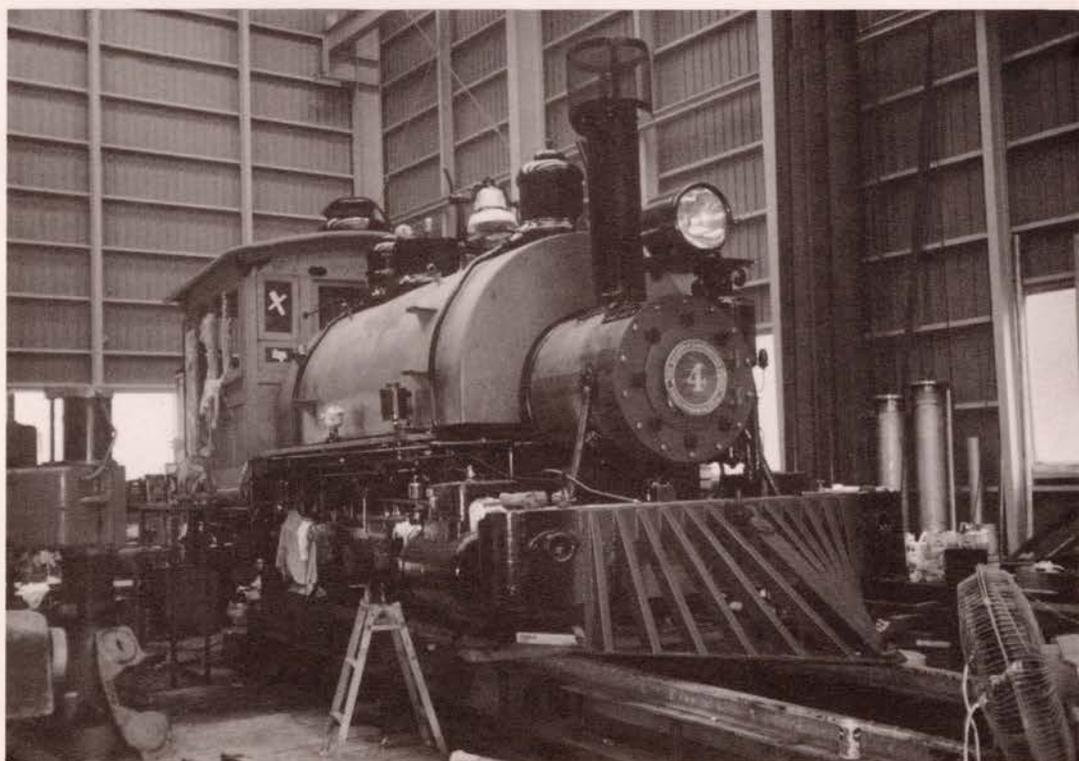


RPSJ NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会

1998総会



"WESTERN VILLAGE" IN 1998

はじめに

日本鉄道保存協会が設立されて、今年で満8年を迎えます。

この間、多くの皆さまのご支援・ご協力のもと微力ではございますが、活動をつづけてまいりました。現在、加盟団体は21を数え、より一層の広がりをみせております。

最近では、歴史的車両を近代化遺産としてとらえ、重要文化財として指定されるに至っております。また、これらを地域の活性化の核として位置づけ、保存・活用する動きも活発化してまいりました。

今後、国内はもちろん国際交流を通じて、まさしく地域の宝ものである鉄道文化財の積極的な保存・活用に向けて、お互い力を合わせて取り組んでまいりましょう。

日本鉄道保存協会 平成10年度総会次第

〔日 時〕 平成10年9月3日（木） 15時20分～18時15分

〔開催地〕 栃木県今市市・ウェスタン村

1. あいさつ

開催地団体	ウェスタン村	村 長	大南 兼一
代表幹事団体	財団法人日本ナショナルトラスト	理 事	河合 茂美
顧 問	東京女子大学文理学部	教 授	小池 滋

2. 来賓あいさつ	藤原町	町 長	八木澤昭雄
	鬼怒川・川治温泉観光協会	会 長	庄田 雄一

3. 出席者の紹介（簡単な近況報告を含めて）

4. 議 事

①新加盟団体の承認

- ・ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会（北海道・穂別町）〔平成9年12月10日〕

②平成9年度事業報告

- 総会の開催（平成9年8月28日・北海道・三笠市）
- マスコミなどを通じての広報活動
- 会報の発行〔各団体の活動状況及び情報交換など〕
- その他

②平成9年度収支報告（別紙参照）

③平成9年度会計監査報告

④平成10年度事業計画（案）

a. 総会の開催

〔平成10年9月3日・栃木県今市市・ウェスタン村〕

- 会報の発行〔各団体の活動状況及び情報交換など〕
- マスコミなどを通じての広報活動
- 会員及び賛助会員の拡充
- その他

⑤平成10年度収支予算（案）（別紙参照）

⑥次回開催地について

⑦その他

5. 開催地団体の取り組みと現状報告

ウェスタン村

常務取締役手塚 茂夫
村 長 大南 兼一

6. 討論：テーマ「観光資源としての保存鉄道」

出席者	東京女子大学文理学部 上松町産業観光課商工観光係 トラベルライター	教授	小池 滋 係 長 巾 勝幸 白川 淳
進行	財団法人日本ナショナルトラスト事業課	課 長	米山 淳一
モニター	駿河台大学文化情報学部 交通博物館	教授	青木 栄一 元副館長 松澤 正二

●顧問 (3名)

駿河台大学文化情報学部	教授	青木 栄一
東京女子大学文理学部	教授	小池 滋
交通博物館	元副館長	松澤 正二

●加盟団体 (35名)

①丸瀬布町	林務商工課公園管理係長	小山 信芳 (欠席)
②三笠市		(欠席)
③北海道旅客鉄道株式会社		
④ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会	穂別町政策調整課参事	斉藤 征義
⑤ウェスタン村〔大高企業株式会社〕	専務取締役	大南 兼一
	常務取締役	手塚 茂夫
	広報担当	森本 浩
⑥真岡線S L運行協議会	総務課主任主査	竹下 常昭
	総務課主事	上野 雅士
⑦財団法人埼玉県北部観光振興財団	秩父市観光課係長	小池 史夫
⑧日本工業大学	工業技術博物館館長	鈴木 昭
	附属東京工業高校教諭	大石和太郎 (欠席)
⑨財団法人東日本鉄道文化財団		
⑩財団法人日本ナショナルトラスト	理事	河合 茂美
	事業課長	米山 淳一
	事業課企画主任	松本 恵子
⑪上松町	産業観光課商工観光係長	巾 勝幸
⑫虹の郷〔財団法人修善寺町振興公社〕	施設課長	小川 和博
⑬大井川鉄道株式会社	専務取締役	清水 武 (欠席)
⑭財団法人博物館明治村		(欠席)
⑮東海旅客鉄道株式会社		(欠席)
⑯西日本旅客鉄道株式会社		(欠席)
⑰加悦S L広場〔カヤ興産株式会社〕	取締役管理部長	篠崎 隆 (欠席)
⑱なつかしの尾小屋鉄道を守る会		
⑲馬路村〔馬路森林鉄道を走らす会〕	副会長	公文 和市
	事務局長	清岡 博基
	会員	乾 正逸
	会員	古田 覚

馬路村〔馬路森林鉄道を走らす会〕

会員	乾 源規
会員	中村 熊喜
会員	下田 進
会員	四国 勝
会員	清岡 寿明
会員	木下 雄幸
会員	清岡 祇信
会員	黒岩 博行
会員	岩城 安夫
会員	甫木 正一
会員	乾 義昭

⑩九州旅客鉄道株式会社

総務部広報課長

⑪屋久町

町長

企画調整課地域活性化対策係長

山崎 利広

●賛助会員（4名）

法人株式会社ネコ・パブリッシング

レイルマガジン編集長

名取 紀之

法人日本鉄道写真作家協会

会長

広田 尚敬

個人けいてつ協会

代表（財団法人日本ナショナルトラスト会員）

岡本 憲之

個人財団法人日本ナショナルトラスト

会員

笹川 登

●オブザーバー（15名）

産業考古学会

理事

堤 一郎

NHK報道局映像取材部

副部長

浅井 裕

交通新聞社

常務取締役・編集長

水野 弥彦

朝日新聞アサヒグラフ編集部

カメラマン

早坂 元興

朝日新聞国際本部翻訳センター

編集長

岡田 久雄

西武鉄道株式会社車両部

次長

西尾 恵介

東武博物館

事務局長

花上 嘉成

財団法人日本ナショナルトラスト

理事（運輸政策審議会委員）

増田 浩三

財団法人日本ナショナルトラスト

会員（トラベルライター）

白川 淳

財団法人日本ナショナルトラスト

会員

倉繁 聡

財団法人日本ナショナルトラスト

会員

谷口 直人

財団法人日本ナショナルトラスト

会員

織田 秀次

ニフティサーブ鉄道フォーラム

代表（財団法人日本ナショナルトラスト会員）

伊藤 博康

けいてつ協会

会員

舛本 成行

斉藤 啓子

日本鉄道保存協会規約

(名称)

第1条 この会の名称は日本鉄道保存協会（以下「協会」という）とする。

(目的)

第2条 協会は、歴史的鉄道車両を動態保存している加盟団体が相い集まり、相互に情報を交換し、将来にわたる動態保存を推進することを目的とする。

(会員)

第3条 協会は、正会員たる加盟団体および賛助会員をもって構成する。

(会議)

第4条 協会の会議は総会および幹事会とする。

2. 総会は年1回開催するものとし、必要のつど臨時に開催することができる。

(役員団体)

第5条 協会に代表幹事団体1団体、幹事団体2団体、会計監事団体2団体を置く。

2. 代表幹事団体、幹事団体、会計監事団体は、加盟団体の互選により選出する。
3. 代表幹事団体は、協会を代表し会務を総理する。
幹事団体は、総会その他会務の執行に関する重要事項を協議する。会計監事団体は、協会の会計を監査する。
4. 役員団体の任期は2年とし、重任を妨げない。

(顧問)

第6条 協会に顧問を置く。顧問は、総会において代表幹事団体が推薦し、任期は2年とし、重任を妨げない。

(事務局)

第7条 協会の事務局は、代表幹事団体に置く。

(会費)

第8条 協会の経費は、正会員、賛助会員が拠出する会費、および寄付金により賄う。

2. 年会費の額は、正会員12,000円、賛助会員12,000円（1口）とする。
3. 会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の改正)

第9条 この規約の改正は、総会の議決によらなければならない。

付 則 この規約は、平成3年4月1日から施行する。

総会の運営方法

原則として加盟団体の輪番制とし、開催に際しては、代表幹事団体及び幹事団体ならびに開催場所の団体が協同して行う。

平成3年4月1日施行

平成6年8月10日改正

①丸瀬布町（町長 枝松泰彦） 〒099-0203北海道紋別郡丸瀬布町中町 丸瀬布町役場 ◎林務商工課公園管理係長 小山信芳	☎ 01584-7-2211 FAX 01584-7-2128
②三笠市（市長 青木銀一） 〒068-2153北海道三笠市幸町2 三笠市役所 ◎経済建設部商工観光課商工観光係 事務補 富宅達也	☎ 01267-2-3181 FAX 01267-2-7880
③北海道旅客鉄道株式会社（社長 坂本眞一） 〒060-8644北海道札幌市中央区北11条西15 運輸部管理課長 佐藤 隆 ◎管理課 荒屋敷明久	☎ 011-700-5781 FAX 011-700-5782
④ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会（会長 加藤 勉） 〒054-0364北海道勇払郡穂別町富内 ふじや商店内 ◎事務局 高橋正春 斉藤征義（穂別町政策調整課）	☎ 01454-6-6212 FAX 01454-6-6225
⑤ウェスタン村〔大高企業株式会社〕（社長 大南志津子） 〒321-2421栃木県今市市栗原315-1 専務取締役 大南兼一 ◎企画広報担当 森本 浩	☎ 0288-21-8731 FAX 0288-21-7093
⑥真岡線S L運行協議会（会長 菊地恒三郎） 〒321-4305栃木県真岡市荒町5203 芳賀地区広域行政事務組合 総務課長 石田一行 ◎企画係長 永嶋良智	☎ 0285-82-9151 FAX 0285-82-9152
⑦財団法人埼玉県北部観光振興財団（理事長 内田全一） 〒368-0032埼玉県秩父市熊木町8-15 秩父市役所 事務局長 高橋兼夫 ◎観光課係長 小池史夫	☎ 0494-22-2211 FAX 0494-25-0136
⑧日本工業大学（学長 神馬 敬） 〒345-0826埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 ◎工業技術博物館長 鈴木 昭 付属東京工業高校教諭 大石和太郎	☎ 0480-34-4111 FAX 0480-34-2941
⑨財団法人東日本鉄道文化財団（理事長 住田正二） 〒151-0053東京都渋谷区代々木2-2-2 JR東日本本社ビル11階 ◎企画部課長 東谷正幸	☎ 03-5334-0623 FAX 03-5334-0624

<p>⑩財団法人日本ナショナルトラスト（会長 梶本保邦） 〒100-0005東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル810 事業課長 米山淳一 ◎事業課企画主任 松本恵子</p>	<p>☎ 03-3214-2631 FAX 03-3214-2633</p>
<p>⑪上松町（町長 佐々木金三） 〒399-5603長野県木曾郡上松町駅前通り2-13 上松町役場 ◎産業観光課商工観光係長 巾 勝幸</p>	<p>☎ 0264-52-2001 FAX 0264-52-2150</p>
<p>⑫虹の郷〔財団法人修善寺町振興公社〕（理事長 小池良明） 〒410-2416静岡県田方郡修善寺町修善寺4279 ◎施設課長 小川和博</p>	<p>☎ 0558-72-7222 FAX 0558-72-7133</p>
<p>⑬大井川鉄道株式会社（社長 山下 武） 〒428-0021静岡県榛原郡金谷町1112 ◎専務取締役 清水 武</p>	<p>☎ 0547-45-4111 FAX 0547-46-3746</p>
<p>⑭財団法人博物館明治村（館長 飯田喜四郎） 〒484-0000愛知県犬山市内山1 犬山事務所 ◎業務課長 加藤勝久</p>	<p>☎ 0568-67-0314 FAX 0568-67-0358</p>
<p>⑮東海旅客鉄道株式会社（社長 葛西敬之） 〒450-0002愛知県名古屋市中村区名駅1-3-4 ◎東海鉄道事業本部車両部管理課係長 清水浩雅</p>	<p>☎ 052-564-2461 FAX 052-564-2462</p>
<p>⑯西日本旅客鉄道株式会社（社長 南谷昌二郎） 〒530-8341大阪府大阪市北区芝田2-4-24 ◎広報室主席 奥谷博司</p>	<p>☎ 06-375-8979 FAX 06-376-6053</p>
<p>⑰加悦S L広場〔カヤ興産株式会社〕（社長 野村恒夫） 〒629-2422京都府与謝郡加悦町滝941-2 ◎管理部長 篠崎 隆</p>	<p>☎ 0772-42-3186 FAX 0772-43-0080</p>
<p>⑱なつかしの尾小屋鉄道を守る会（会長 源 智善） 〒923-0302石川県小松市符津町念佛3-1 県立小松児童会館内 ◎副館長 宮本昭夫</p>	<p>☎ 0761-43-1075 FAX 0761-43-1076</p>

<p>⑱馬路村（村長 上治堂司） 〒781-6201高知県安芸郡馬路村魚梁瀬 やなせ森林鉄道を守る会 高知県安芸郡馬路村馬路 馬路森林鉄道を走らす会</p>	<p>馬路村役場魚梁瀬支所 ◎清岡博基 馬路村商工会内 ◎清岡博基</p>	<p>☎ 08874-4-2211 FAX 08874-4-2208 ☎ 08874-4-2108 FAX 08874-4-2108</p>
<p>⑳九州旅客鉄道株式会社（社長 田中浩二） 〒812-8566福岡県福岡市博多区博多駅前中央街1-1 総務部広報課長 矢部芳憲</p>	<p>◎広報課主査 峰 博文</p>	<p>☎ 092-474-2541 FAX 092-474-3898</p>
<p>㉑屋久町（町長 日高十七郎） 〒891-4404鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間157 屋久町役場 ◎企画調整課地域活性化対策係長 山崎 利広</p>		<p>☎ 09974-7-2111 FAX 09974-7-2117</p>

日本鉄道保存協会賛助会員名簿

<p>①株式会社ネコ・パブリッシング 〒158-0097東京都世田谷区用賀2-41-15 ◎Rail Magazine 編集長 名取紀之</p>		<p>☎ 03-3707-7821 FAX 03-3707-7060</p>
<p>②日本鉄道写真作家協会（会長 廣田尚敬） 〒168-0072東京都杉並区高井戸東3-28-11-202 R G G内 ◎事務局長 荒川好夫</p>		<p>☎ 03-3331-5722</p>
<p>③種村直樹（レイルウェイライター） 〒121-0813東京都足立区竹の塚3-11-9-108</p>		<p>☎ 03-3850-3300 FAX 03-3860-0380</p>
<p>④平岡 豊 〒271-0066千葉県松戸市吉井町12-13</p>		<p>☎ 0473-68-2826</p>
<p>⑤けいてつ協会（代表 岡本憲之） 〒171-0044東京都豊島区千早2-17-2</p>		<p>☎ 03-3957-1017</p>

⑥笹川 登

☎ 0425-45-4837

〒196-0022東京都昭島市中神町1140-26

⑦石田貴彦

☎ 0485-92-4057

〒364-0005埼玉県北本市本宿6-207-1 本宿スカイコーポラスA-103

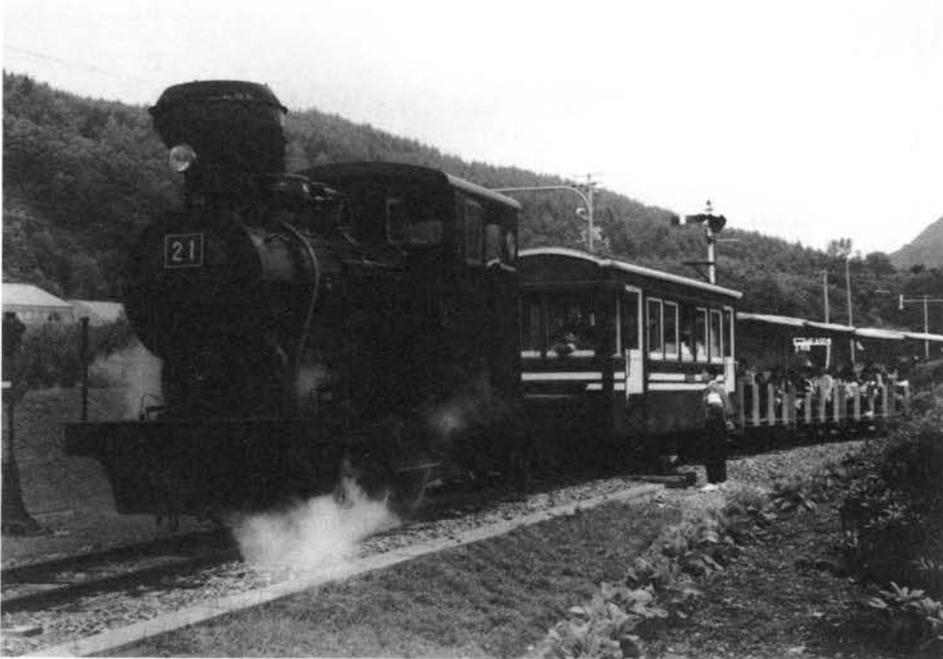
団体名

丸瀬布町

連絡先（住所・電話等）

〒099-023 北海道紋別郡丸瀬布町中町

☎ 01584-7-2211 FAX 01584-7-2128



1998年 森林鉄道雨宮21号 運行日

4 月	26・27・28・29・30
5 月	1・2・3・4・5・9・10・17・23・24・31
6 月	7・13・14・21・27・28
7・8月	5・11・12・19～8/18・22・23・30
9 月	6・12・13・15・20・23・26・27
10 月	4・10・11・18・24・25

運行距離 約2,000M (変形8の字)

乗車料金 大人 500円 小人 250円

運行時間 始発 10:00 ~ 最終 16:30

※雨宮号運行期間中(4/26 ~10/25)の運行日以外の平日（火曜日は除く）についてはディーゼル機関車で運行している。

〔近況報告〕

平成7年より敷設してきた引き込み線（機関車用2線、客車用2線）が昨年10月にようやく完成した。車両の出し入れが容易になった上、その保存風景は回りの景色とマッチし、施設の雰囲気作りに一役買っている。

しかし、現在運行期間中は雨宮号とディーゼル機関車以外は雨ざらし状態の保管であり、車両の傷みが目立ってきており、現在の状況を改善するために、早急に機関庫を建設する必要がある。



団体名	三笠市	連絡先(住所・電話番号等) 068-2192 北海道三笠市幸町2番地 三笠市役所商工観光課商工観光係 TEL(01267)②3181 FAX(01267)②7880
-----	-----	---



平成10年度 SL304号運行計画について

4月 29

5月 2・3・4・5・9・10・16・17・23・24・30・31

6月 6・7・13・14・20・21・27・28

7月 4・5・11・12・18・19・20・25・26・28・29・30・31

8月 1・2・4・6・7・8・9・11・13・14・15・16・18・19・20・21・22・23・29・30

9月 5・6・12・13・15・19・20・23・26・27

10月 3・4・10・11・17・18・19・24・25

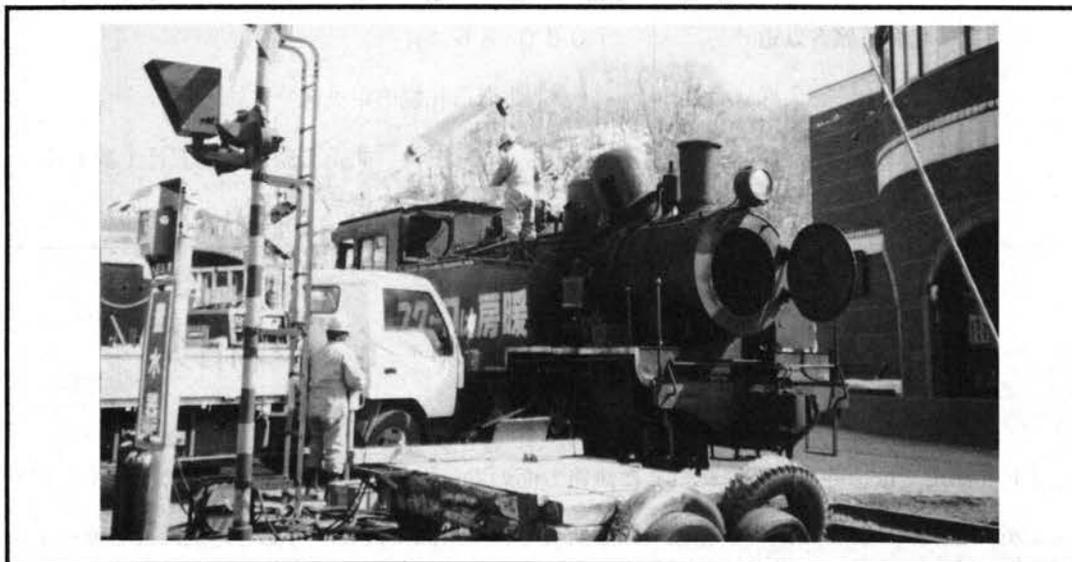
【運行時間】

土曜日 12:00～16:00 30分ごと

日曜日 10:00～16:00 30分ごと

※ ただし、12:00運行後、13:00までは昼休み

SL304号の修理



今年の春に

昭和16年(1941)に製造された工場専用線用の機関車SL304号の右水タンク前部分が腐食により漏水の為、前壁交換修理を行いSLの若返りを図りました。

団体名 北海道旅客鉄道 株式会社 運輸部管理課		連絡先 〒060-8644 北海道札幌市中央区 北11条西15丁目1番1号 011-700-5781 FAX:011-700-5782
--	--	---

札幌～釧路 カートレインの紹介

JR北海道では、昨年の冬に試行した釧路方面のカートレインの運行が一定の成果を上げることができたため、自家用車の積載方法を変更し、短時間で積載が可能な方式によるカートレインをこの夏、札幌～釧路間に運行実施することとなりました。

運行期間は、平成10年8月7日～8月16日までの夏期間とし、状況を見ながら今後のカートレイン運行に反映させたいと考えております。

○運行区間と期間

	運転日	発 駅	着 駅	本 数
下り	8月 7日～12日	白 石 23:02	釧 路 6:18	6本 夜行寝台
上り	8月 8日～12日	釧 路 11:00	白 石 18:28	5本 昼行指定
下り	8月14日～16日	白 石 11:26	釧 路 18:51	3本 夜行指定
上り	8月13日～16日	釧 路 23:08	白 石 5:59	5本 昼行指定

(改造車両は、ワキ10000形式)

○主な改造内容

- ・従来のパレット方式の積載方法から、自家用車が車両妻部から自走し、「積み込み」、「積み卸し」を行う方式へ変更したことが大きな改良内容です。
- ・貨車内部のパレットを取り外し、自家用車が自走可能なようにタイヤ幅より少し広めの通路を確保し、通行面には冬のタイヤ滑り防止用に丸形凹凸面の鋼板を使用しています。また、内部の両サイドは側扉との間に、人間一人が通れる通路を確保し、通路面には、「滑り止め処置」を施しています。
- ・車体妻部は従来の鋼板を撤去し、「オーバースライダー式」のシャッターに改造しました。これによって自家用車の通行を可能としたため、自動連結器の鍵上げ構造も上方式から、下方式に改造変更しました。
- ・貨車間の渡り板は、アルミ製の渡り板を貨車間にセットし、移動しないようにストップ・ピンを差し込む方式としました。

これからも、お客様のニーズにお答えし、みなさまに喜ばれる車両作りに貢献していきたいと考えております。



車両積み込み状況

団体名	ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会	連絡先（住所・電話番号） 北海道勇払郡穂別町富内ふじや商店 ☎01454-6-6212
-----	-----------------	---



2001年、このレールに汽車を走らせた。 プラットホーム・シンポ開く。

旧国鉄富内線（1922～1986）の富内駅と構内を廃線当時のまま保存している北海道穂別町で開かれた「まちづくりシンポジウム」で、「21世紀の初めにちなみ、機関車を走らせた夢」が提案されました。シンポジウムは、プラットホームで宮沢賢治設計の花壇「涙ぐむ眼」を背景に開催され、町内外から約100名が参加。北海道大学教授森啓氏から「文化価値をめざすまちづくり」の講演のあと「地域住民が参加する政策と、行政との役割分担を」「地域の知恵集めと人づくりを」などの活発な提言がありました。

ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会では、これらの提言にそって、「汽車を走らせるキャンペーン」を協議、具体的な計画づくりに取り組みはじめました。



産業遺産としても貴重な輸入レール。

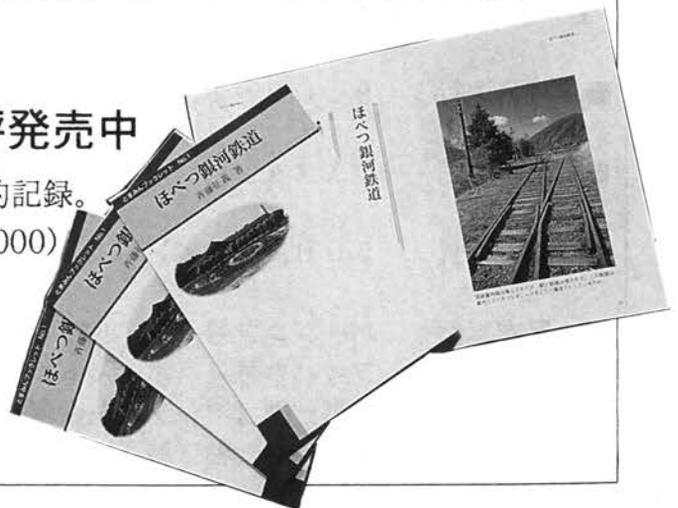
北海道産業考古学会の山田大陸事務局長は、旧国鉄富内駅に当時のまま保存されている輸入レールや構内の風景が、北海道開拓の産業開発を担った遺産として重要と、新聞等にも紹介し、シンポジウムでも発言しました。「ほべつ銀河鉄道」の新しい価値が注目されています。

親水公園づくりが始まりました。

旧駅舎を中心に排水路整備と親水公園づくりを中心に「イーハトーブ2001」事業が着工しました。3か年計画で、パークゴルフ場や桜並木、休憩集会施設などが整えられます。

「ほべつ銀河鉄道」好評発売中

鉄道保存と地域づくりの感動的記録。
(発行：苫小牧民報社 価格：1,000)
お申し込みは当委員会へ。



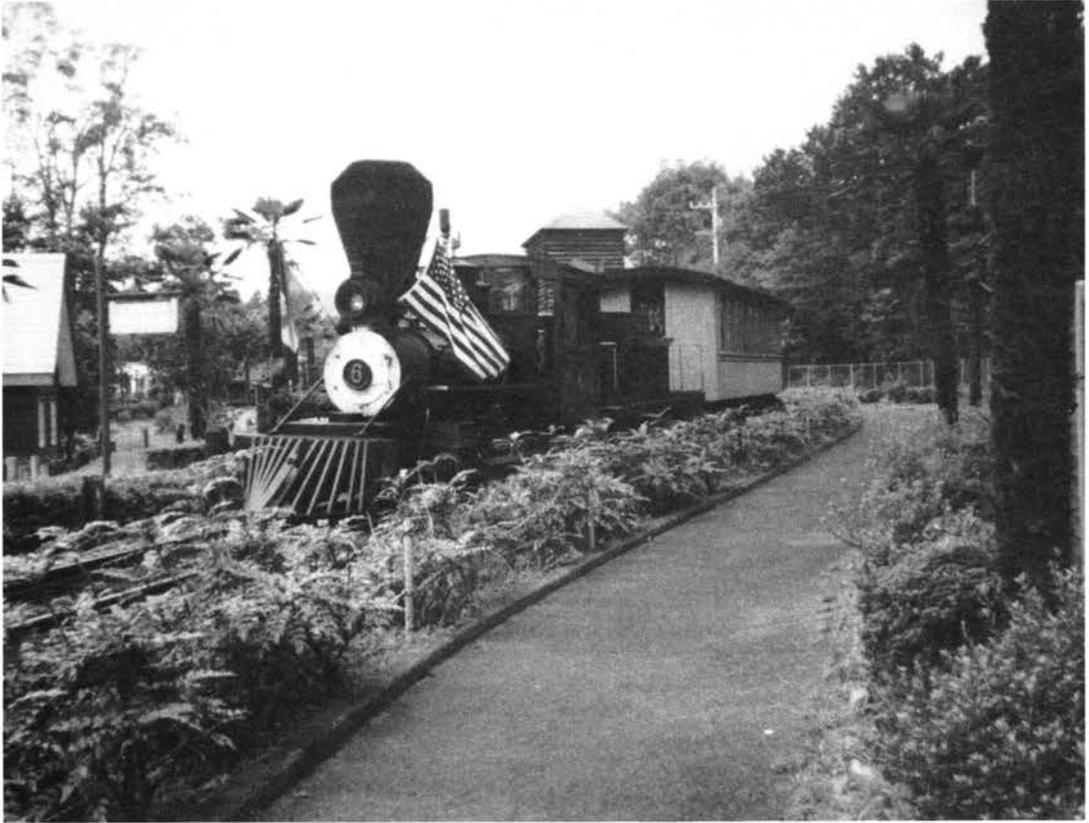
団体名

大高企業株式会社
ウエスタン村

連絡先（住所・電話等）

〒321-24 栃木県今市市栗原315-1

TEL 0288(21)8731 FAX 0288(21)7093



ウエスタン村内を周遊するバージニア号。

1998年 H. K. ポーター「バージニア号」運転日

- 毎日運行 9:00～17:00
- 区 間 ウエスタン村 内（エンドレス）
- 運 賃 500円（一周）
- 保有車輛 バージニア号（H. K. ポーター）
ワイパウ号（ボールドウィン）・・・93年5月より全検
客車一輛（アーチパー台車をはいたもの）
カブース一輛（展示）

〔近況報告〕

- 1991年 7月 バージニア州にあるウエスタンのテーマパーク「トービーズ、ミル アンド ミッションクリーク」より1926年製のH. K. ポーター「7036号」を購入。
- 1992年 4月 H. K. ポーター「7036号」が、ウエスタン村に到着。
- 1993年 5月 「7036号」は、「バージニア号」と命名されウエスタン村において運転を開始する。
- 1993年 5月 「バージニア号」の運転開始と入れ替わりに、BLW「ワイパウ号」の全検にとりかかる。
- 1998年 7月 全検を終了し組立を完了する。

〔組立を終えたワイパウ号〕



1998年7月25日には、昨年ウエスタン村にとって創業20周年記念事業である「アメリカドームおよびマウント ラッシュモア」の完成とともにスタートしたステートフェアもいよいよ4回目を迎えました。今回は、ウィスコンシン・ステートフェアと題し、アメリカの酪農国といわれる同州を紹介いたしております。ウエスタン村鉄道においても、この企画に色を添えるべく担当者一同懸命に力を注いでまいりました。1897年製の超オールドタイマー「ボールドウィン社製ワイパウ号」の復旧には、予想以上の時間と労力がかかりましたが本年ようやくそのほとんどの作業を終え後は塗装を残すのみとなりました。

団体名

真岡線 S L 運行協議会

連絡先

〒321-4305

栃木県真岡市荒町5203

TEL0285-82-9151 FAX0285-82-9152



◎平成10年「C1266」運行日

土・日曜日、祝祭日

夏休み（原則火・水曜日を除く） 1日1往復

毎週第3土曜日は上り列車バック運転（8月は除く）

月	S	L	運	行	日																			
8	1(土)	2(日)	3(月)	6(木)	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)	17(月)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	27(木)	28(金)	29(土)	30(日)	31(月)	
9	12(土)	13(日)	15(火)	19(土)	20(日)	23(水)	26(土)	27(日)																
10	3(土)	4(日)	10(土)	11(日)	14(水)	17(土)	18(日)	24(土)	25(日)	31(土)														
11	1(日)	3(火)	7(土)	8(日)	14(土)	15(日)	21(土)	22(日)	23(月)	28(土)	29(日)													
12	5(土)	6(日)	12(土)	13(日)	19(土)	20(日)	23(水)	24(木)	25(金)	26(土)	27(日)	28(月)	31(木)											

◎区 間 真岡鐵道 下館—茂木間（41.9km）

◎SL整理券 500円（中学生以上）／250円（小学生）※運賃別料金

◎車両編成 S L : C12形 66号 客車:オハ50形2両 オハフ50形1両

◎運行時間 下 館 ← 茂 木 茂 木 → 下 館

10:52 発 12:10 着 14:35 発 16:01 着

◎近況報告

平成9年8月	「こども列車」、「クイズ列車」、「夜行列車」 「SLとバーベキュー&ハイキング」、「SL教室」
9月	SL列車写真コンテスト開始
10月	「鉄道の日」記念SL列車1日車掌 「鉄道の日」記念SLと沿線紹介及び展示即売
10年1月	SL新年号の運行
2月	乗車人員15万人達成
3月	SL列車写真コンテスト審査
4月	真岡鐵道開業10周年記念事業 写真コンテスト表彰式、写真展開催
5月	SL列車感動体験（臨時列車）列車の運行
7月	「夜行列車」、「こども列車」
8月	「こども列車」、「クイズ列車」、「夜行列車」 「SLとバーベキュー&ハイキング」、「SL教室」

SL「C1266」は、平成6年3月以来順調に運行しており、平成9年度の運行日数は174日、乗車人員34,860名、これまでの総乗車人員は15万人を超えたところです。

真岡鐵道においては、SL型の真岡駅が「関東の駅百選」の認定を受けるとともに、それぞれの個性を活かした新しい茂木駅、益子駅も住民の方に親しまれています。平成10年4月には開業10周年を迎え「1日フリーきっぷ」の発売など、魅力ある鐵道をめざした取組みを進めております。また、平成9年8月には待望の「ツインリンクもてぎ」がオープンし、沿線の新たな観光拠点としても大いに期待をしております。

この秋（11月1日から5日まで）には、全国の第三セクター鐵道の関係者が集まり、地域の方々と一緒に楽しみながら鐵道の活性化と地域づくりを考える「第3回ふるさとレールフェスタ in 真岡鐵道」の開催を予定しております。

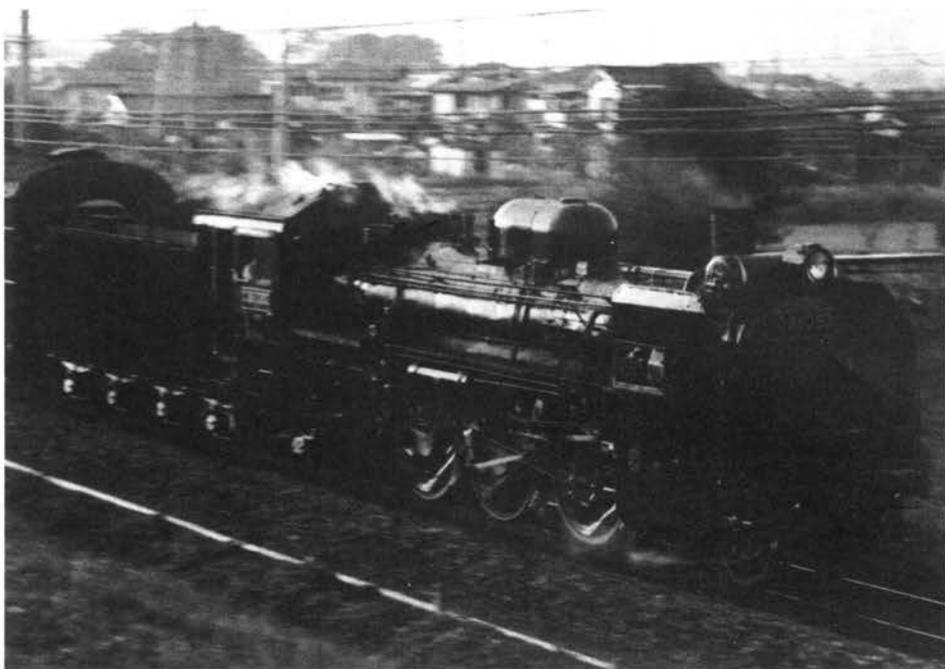
主な内容は次のとおりです。

- ・ふれあい写真展(11月1日~5日)・真鐵縦断ウルトラクイズ(11月3日)
- ・三セク物産フェア(11月3日)・フォーラム、記念講演(11月4日)

SL「C1266」の車両整備状況については、平成9年1月に重要部検査を実施、7月には連結棒、各受金部プッシュの削正、調整を実施した。

2台目のSL「C11325」については、現在JR東日本大宮工場において復元作業中であり、11月のレールフェスタ事業の際に運行する予定です。

団体名 財団法人 埼玉県北部観光振興財団		連絡先（住所・電話等） 〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8-15 秩父市役所観光課内 TEL 0494-22-2211 FAX 0494-25-0136
----------------------------	--	--



秩父路を走るパレオエクスプレス

1998年「パレオエクスプレス」運転日（主に土・休日を中心に運転）

3月28日・29日
 4月4日・5日・11日・12日・19日・25日・26日・29日
 5月3日・4日・5日・9日・10日・17日・23日・24日・31日
 6月7日・14日・21日・28日
 7月5日・12日・19日・20日・24日・25日・26日・31日
 8月1日・2日・7日・8日・9日・14日・15日・16日・21日・22日・23日・29日・30日
 9月6日・13日・15日・20日・23日・27日
 10月4日・10日・11日・18日・24日・25日・31日
 11月1日・3日・7日・8日・14日・15日・21日・22日・23日

〔区間〕

秩父鉄道 熊谷－三峰口間（5.7 Km）

〔運賃〕（SL整理券代含む）

熊谷－三峰口（片道1,420 円）

〔保有車両の編成〕

C58形 363号蒸気機関車

〔運行時間〕

熊谷駅10:10発－三峰口駅12:53着 三峰口駅14:03発－熊谷駅16:18着

* 運行時間については、土・休日時間です。平日運行は、時間が異なります。

〔近況報告〕

1998年 1月13日～ 2月 1日SL写真コンクール展

2月 1日 SL写真コンクール表彰式

3月 2日 理事会・評議員会

3月28日 SL開通式 開通記念ヘッドマークを付けて走行

4月 国道 140号雁坂トンネル開通記念ヘッドマークを付けて走行

6月 テレホンカード秩父SLシリーズNo.15・No.16を製作販売

7月 9日 理事会・評議員会

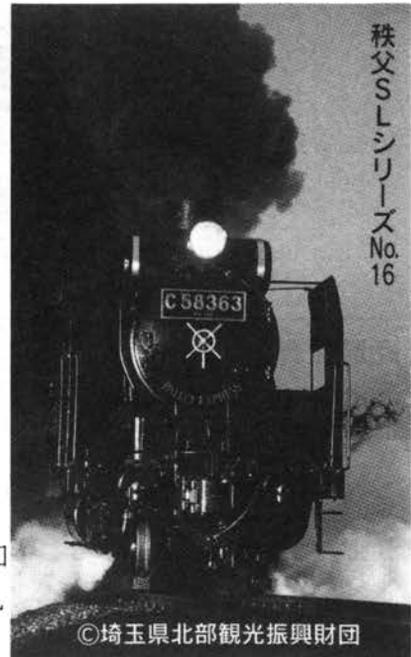
7月 SL写真コンクール募集開始

9月末日 SL写真コンクール募集締め切り

10月 SL写真コンクール入賞者発表予定

1999年 1月中旬 SL写真コンクール展（入賞者作品の展示）予定

○97年度は、3月～11月まで計68回の運転が行われ、乗客数43,393人でした。



テレホンカード秩父SLシリーズNo.15↑ No.16⇒

埼玉県北部地域の観光振興と活性化を図るべく、昭和63年の「さいたま博」にあわせて運行を開始したSLもおかげさまで11年目を迎えました。

このSLの運営には、秩父鉄道沿線市町村を中心に組織された財団法人埼玉県北部観光振興財団があたり、運行は秩父鉄道(株)に委託しており今年も土曜・休日を中心に66日を運行しますので、皆様のおいでをお待ちしております。

運行スケジュール等のお問い合わせは、秩父鉄道(株)運輸課 ☎0485-23-3317まで。

団体名

**日本工業大学
工業技術博物館**

連絡先（住所・電話）

〒345 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1

Tel. 0480-33-7545(直)

Fax. 0480-33-7570(直)

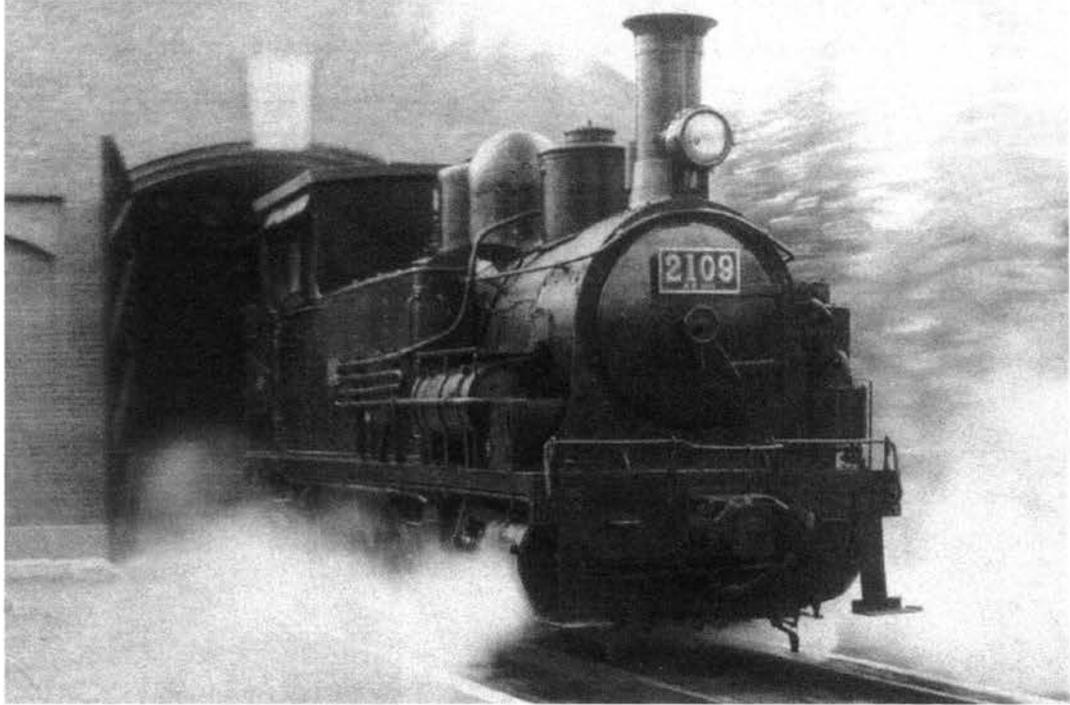


写真1 疾走する蒸気機関車2109号

【近況報告】

1. ボイラー性能検査の結果報告

平成9年12月12日に5度めのボイラー性能検査を実施した結果、例年どおり合格であった。

これまで運転終了時には、ボイラー内の水を丁寧に除去して保管いたしていたが、缶内に残留している空気中の酸素が腐食を招く原因となることが考えられるため、平成9年の春季より湿式保存に切り替えた。その際、清缶剤には(株)望星製のBOHSEIを取扱説明書に従い、『水1 tonあたり100cc』を投入した結果、写真2に示すように煙管触水面に軽度な点食がボイラー性能検査の際に発見されたため、ボイラー整備技士・ボイラー製造会社と相談し、清缶剤の投入量を2倍にして、毎月1度は釜に火を入れてボイラー内の水を対流させて保管することとした。

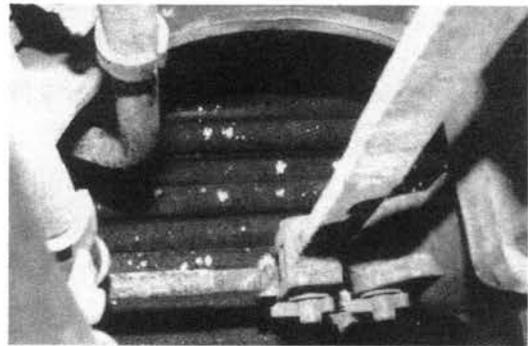


写真2 軽度な点食が発見された煙管

2. 弊館職員のSL運転研修について

弊館の五月女浩樹職員(22才)が、動態保存中の2109号の運転・整備を習得するための研修を開始いたしました。研修には、大井川鉄道株式会社に全面的に協力して頂き、期間を本年の5月より12月末日までの8カ月間の予定である。研修の目的は、次のように2項目ある。

- (1) 本学敷地内に敷設された軌道上において、本学が所有する蒸気機関車2109号機を、安全に運転が行えるようにする。
- (2) 本学で実施する有火運転で消耗する機械部品等の補修を行えるようにする。

今回の研修は、同社の担当者よりマンツーマンで研修して頂くが、この程度の研修では、SLに関する技術のほんの一部を習得したにすぎない。従って、研修後は、問題などが発生した時、その都度、指導して頂くことを計画している。研修中の様子を写真3に示す。

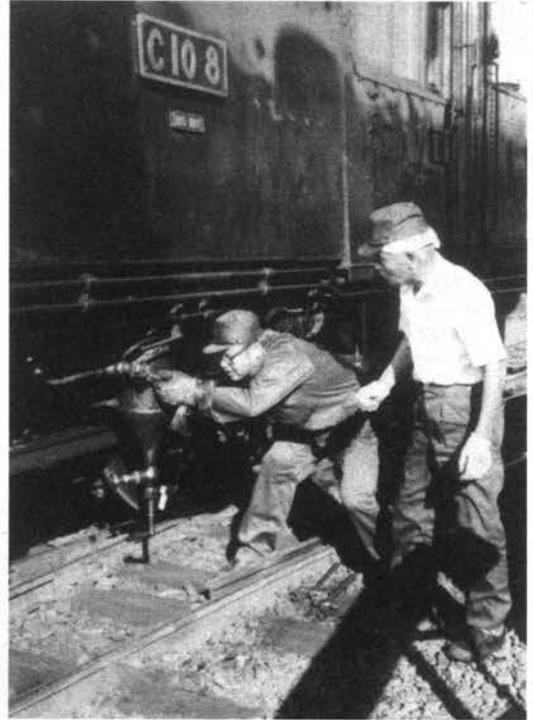


写真3 大鉄技術サービスの岡本氏から指導を受ける研修中の五月女職員

【1998年の蒸気機関車2109号の運転について】

蒸気機関車2109号の運転予定を、下記の表1に示す。ただし、都合により変更することをご了解頂きたい。

日 程	時 刻	場 所
9月12日(土)	午前10時から午後4時まで	日本工業大学 内
11月1日(日)	午前10時から午後4時まで	日本工業大学 内
" 13日(金)	午後1時から午後4時まで	日本工業大学 内

【お知らせ】

工業技術博物館にて特別展と講演会の開催が予定されておりますので、ご案内申し上げます。

特別展

タイトル / コマの運動メカニズムと発展
会 期 / 平成10年10月30日(金)～
11月23日(月)
会 場 / 日本工業大学 工業技術博物館
入場料 / 無料

講演会

日 時 / 平成10年11月13日(金)
場 所 / 日本工業大学 学友会館ホール
演 題 / コマの運動メカニズムと発展
講 師 / 国立小山工業高等専門学校
機械工学科
教授 黒 須 茂 先生

団体名	財団法人 東日本鉄道文化財団	連絡先（住所・電話等） 〒 151-8578 東京都渋谷区代々木2-2-2 ☎ 03-5334-0623 FAX 03-5334-0624
-----	-------------------	---

財団法人東日本鉄道文化財団は、(1)鉄道を通じた地域文化の振興、(2)鉄道に関する調査・研究の促進、(3)鉄道に関わる国際文化交流の推進を事業の三つの柱とし、人間性豊かな鉄道文化、交通文化を育てることを目的として活動しております。

主な活動内容については、次のとおりであります。

1. 鉄道を通じた地域文化の振興

(1) 東京ステーションギャラリー

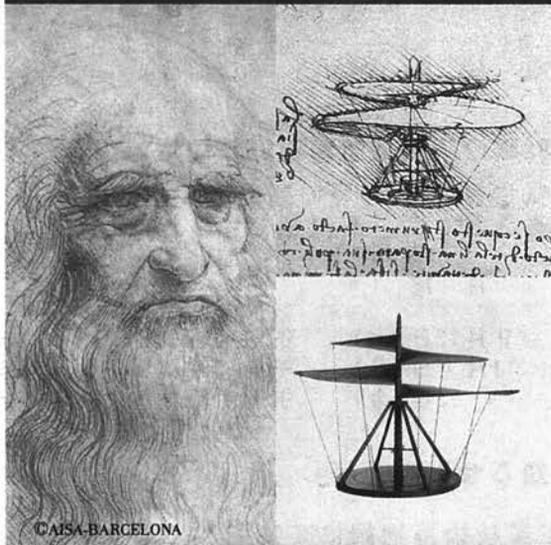
「小さくとも本格的な美術館」をモットーに、絵画だけでなく、建築、鉄道、デザインなど様々なジャンルの展覧会を開催しています。

現在開催中の「レオナルド・ダ・ヴィンチ」展



(2) とうきょうエキコン

東京駅赤煉瓦駅舎のドームという歴史的建造物を舞台に、クラシック音楽を中心に日本の伝統芸能、世界の民族音楽など本格的なコンサートを開催しています。



(3) みちのくエキコン

東北ならではの文化情報の発信を目指し、仙台駅2階コンコースにて東北の伝統芸能を中心に、みちのく文化の洗練と成熟を現代感覚ゆたかにアピールしています。

次ページ写真：みちのくエキコン

平成9年11月22日開催

第14回 修羅百焔

(しゅらはっこう)

1998年8月1日①—9月27日② 東京ステーションギャラリー

●休館日 月曜日●開館時間 午前10時—午後3時(ただし土日、祝日は午後6時まで、入場は閉館30分前まで)●東京都千代田区丸の内1-9-1丸の内中央口下車、赤煉瓦駅舎内 TEL.03-3212-2185 [ホームページ]http://www.ejcf.or.jp

主催 財団法人 東日本鉄道文化財団

協賛 NKKプロモーション

日本経済新聞社

企画協力 イタリア国立レオナルド・ダ・ヴィンチ科学技術博物館

国立科学博物館

後援 イタリア大使館、イタリア文化会館、NHK、東日本旅客鉄道株式会社

協力 Alitalia アリタリア航空

協賛 東京海上火災保険株式会社





(4) 地域文化事業支援

JR東日本や地方自治体と協力して、各地の貴重な伝統文化の掘り起こしと保全、伝統芸能の維持、発展のための支援を行っています。

2. 鉄道に関する調査・研究の促進

(1) 交通研究者への調査・研究助成

「鉄道文化と新しい交通社会の探求」を基本テーマに、鉄道経営、鉄道技術、鉄道の未来像など鉄道に関する独創的な学術調査・研究への支援を行っています。

(2) 鉄道と交通のデジタル資料館

国内、海外を問わず、交通に係わる組織や個人を結び、交通文化の普及と交通研究の支援のために、マルチメディアとネットワークに対応した情報の蓄積と提供を行います。

3. 鉄道に関わる国際文化交流の推進

(1) 海外鉄道職員の研修事業

アジア諸国の鉄道の若手幹部職員を日本に招聘し、具体的な研修テーマに基づいて鉄道経営、鉄道技術などを学ぶ企業研修を実施しています。

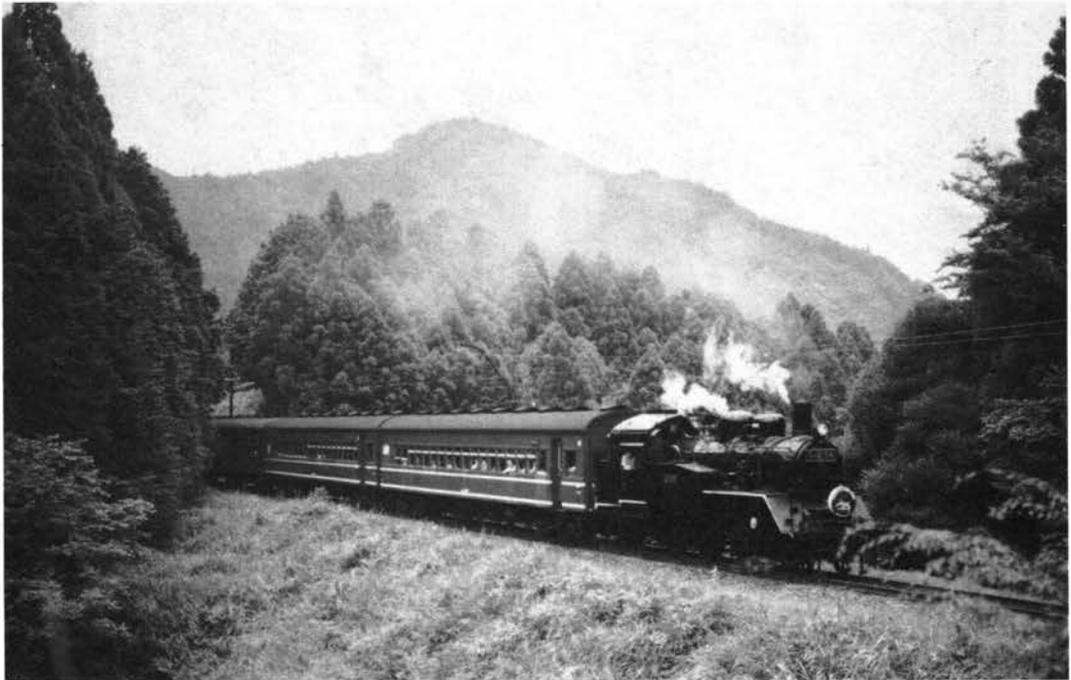
(2) 英文交通評論誌

鉄道を中心とした日本の国内交通事情を広く海外に伝えるとともに、交通問題に関する世界各国の有識者が意見を交換する”国際的な討議の場”を提供することを目的として、英文の交通情報・評論誌を発行しています。

(3) 鉄道の基礎に関する英文小冊子

国鉄民営化をはじめ、日本の鉄道についての基本的な解説書としてテーマ別の英文冊子を発行しています。

団体名	財団法人 日本ナショナルトラスト	〒100-0005東京都千代田区丸の内3-4-1 新国ビル810 TEL 03-3214-2631 FAX 03-3214-2633
-----	---------------------	--



運行10周年記念オリジナルヘッドマークをつけて走るトラストトレイン

1998年「トラストトレイン」運転日

4月18日・5月30日・6月27日・7月18日

8月29日・9月26日・10月3日・11月28日 いずれも土曜日に運転

〔区間〕

大井川鉄道 金谷 — 千頭間 (39.5km)

〔運賃〕 (SL新緑号)

金谷 — 千頭 (片道 2,370円)

〔保有車両の編成〕

C12形 164号蒸気機関車、スハフ43形 2・3号客車、オハニ36形 7号荷物合造客車

〔運行時間〕

金谷駅12:45 発 — 千頭駅14:07 着 千頭駅15:30 発 — 金谷駅16:49 着

〔近況報告〕

- 1997年 4月～ 運行10周年記念のカラーパンフレットの配付を開始
鉄道サークルで運行10周年記念テレカを製作し、販売を開始
- 5月25日 ニフティサーブ鉄道フォーラムのイベントで走行
- 6月 C12形蒸気機関車の定期検査
- 7月19日 運行10周年記念のオリジナルヘッドマークを付けて走行
- 8月 スハフ43形客車のカーテン取り替え・オハニ36形荷物合造客車の白熱灯化工事の実施
- 10月4日 運行10周年記念し、関係者を招き式典及び記念運転を実施。同時にカーテン及び白熱灯のお披露目。
- 11月30日 鉄道サークルによるスハフ43形客車の車掌室天井の補修
- 1998年 2月18日 大井川鉄道(株)との管理運営打合せ
- 3月 C12形蒸気機関車が故障（煙管及び主蒸気管が破損）
- 3月21日 鉄道サークルによる運転前の客車の清掃
- 6月 C12形蒸気機関車の定期検査
- 6月27日～ 車内募金千円以上の方に団扇をプレゼント

○97年度も4月～11月まで計8回の運転が行われ、乗客数は1,366人、車内販売売上266,700円、車内募金76,027円、ボランティア参加121名だった。



千頭駅で招待者がC12 164号機の横で記念撮影 皆さんの顔に笑みがこぼれる



千頭駅到着後にオハニ36形の車内灯を招待者に披露する

おかげさまでトラストトレインは、平成9年7月25日に運行10周年を迎えました。10月4日の運転日には関係者をお招きし、10周年を祝う記念式典及び記念運転を実施いたしました。また、集まったカーテン募金78口(2,340,000円)で取り替え工事を行ったスハフ43形客車のカーテンと白熱灯に変えたオハニ36形荷物合造客車のお披露目も併せて行いました。これもひとえに全国の皆さまの温かいご支援・ご協力があったのことに感謝しています。しかし、今年3月になってC12形蒸気機関車が故障し、現在応急処置で走行している状態です。本格的な修復にはかなりの額の費用と時間を必要とするため、カーテン同様に募金を募る予定です。ご支援よろしく申し上げます。

団体名	上 松 町	連絡先 〒399-5603 長野県木曾郡上松町 駅前通り2-13 TEL (0264) 52-2001 FAX (0264) 52-1038
-----	-------	---



1998年、赤沢森林鉄道は、次のように運行されています。

○運行期間

4月25日(土)～11月3日(祝) 土、日、祝日運行
 上記期間のうち、ゴールデンウィークの4月25日～5月5日と、
 夏休みイベント期間の7月18日～8月31日が連日運行となります。

○乗車料金

夏休みのイベント開催期間を除いた料金は、
 大人 700円、子供 400円 15名以上の団体は各100円引き。

夏休み期間の7月18日～8月30日はイベント料金となるため、
 大人 1,200円、子供 900円 15名以上の団体は各100円引き。
 なお、8月31日(月)は通常期間の料金で運行されます。

○運行区間

森林鉄道記念館前から丸山渡停車駅までの往復2.2km。

○所要時間

往復25分。
 発車時刻は、夏休み期間が9:00を始発として30分置きに1往復。
 それ以外の期間は9:30を始発として30分置きに1往復。
 それぞれ、3:30発の便が最終となります。

>>近況報告

昨年度から今年度にかけて軌道沿い法面の緑生が進み、溪流を辿る道のりがさらに爽やかになりました。今後は広葉樹などの植樹を行ない、林鉄車窓からの景色を、今以上に大切に育てていきたいと考えています。

今年度に入り、森林鉄道も各方面から取材がありました。県内の出版社からも、運行当時の「王滝線」にまつわる写真集が発売されています。また、NHK衛星放送の「消えた鉄道を歩く」でも取り上げられ、7月に放映されました。各情報誌、旅情報番組にも掲載・放映されるなど、様々な方面でご紹介いただいています。

なお、今年度は上松町の総合パンフレットも森林鉄道を表紙としています。

今年度は、導入から3年目を迎えた身障者用客車が活躍する場面が増えてきました。

赤沢自然休養林の森林浴コース「ふれあいの道」は、舗装と橋で整備され、車椅子御利用の方々でも、コースを利用して森林浴を楽しめます。

すでに今年度もいくつかの団体が御利用され、また、初めてのモニターツアーも実施されました。

個人で赤沢へお越しの方々でも、車椅子のまま森林鉄道に御乗車できます。案内所・改札窓口で、お気軽にご相談下さい。



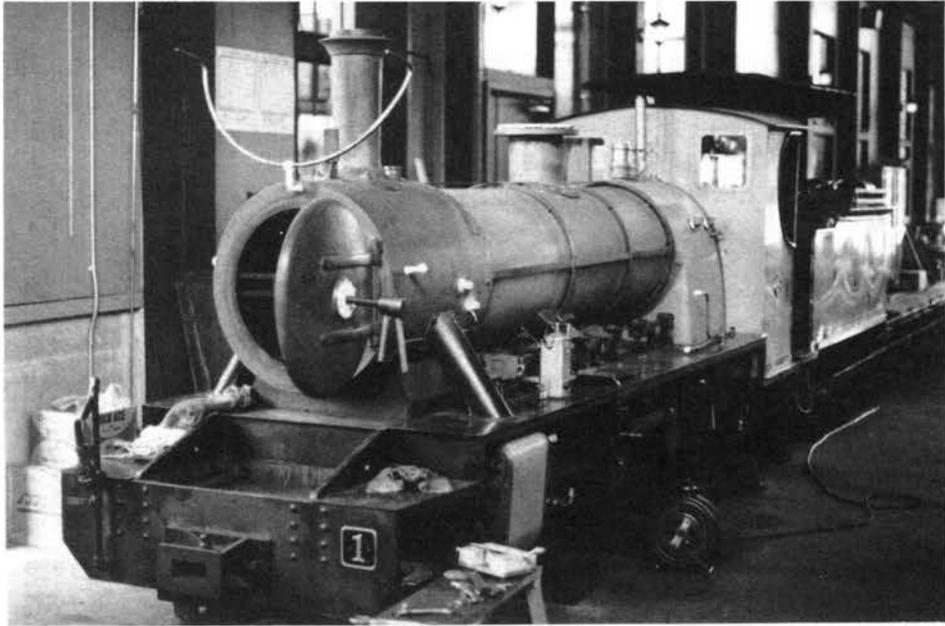
上松町では、本年4月1日よりインターネットのホームページを開設いたしました。赤沢自然休養林をはじめ、森林鉄道の運行情報もご案内いたします。

URLは、 <http://www.avisnet.or.jp/~hinoki/>

メールアドレスは、 hinoki@avisnet.or.jp です。

パンフレットの送付やお問い合わせなども受け付けていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

団体名	財団法人	〒410-2416 静岡県
	修善寺町振興公社	田方郡修善寺町修善寺4279-3
	修善寺虹の郷	☎ 0558-72-7222



保有車両 1998年 7月22日現在

蒸気機関車 4両

ERNESST W TWINING 2-C-1 1949年製造

NORTHERN ROCK II 1-C-1 1989年製造

CUMBURIA 1-C-1 1992年製造

C11 (金沢工業大学より貸与された) 1-C-2 1996年製造

ディーゼル機関車 2両

JOHN SOUTHLAND O II B - B 1988年製造

CITY OF BIRMINGHAM 0-C-0 1992年製造

客車

普通客車 (定員 20名) 15両

車椅子用客車 (定員 車椅子 4台 付添い者 4名) 3両

軌道延長 本線 2315m 引込線 退避線 700m

転車台 1基 駅舎 2棟 機関庫 1棟

〔近況報告〕

NORTHERN ROCK II

動輪のフランジが摩耗したので、伊豆箱根鉄道㈱三島電車工場にて修整する。

この際、動輪軸箱軸受を点検したところ6組の軸箱のうち4組の軸箱に罅割れを発見した。過去にも何度か罅割れ、その都度電気溶接で修理していたが今回は罅割れた箇所が多くまた、罅割れも大きいので割れ易い従来の鑄鉄製軸箱から延性があり割れ難いダクタイル鑄鉄製軸箱と交換することにし、ベアリングメーカーのNTN岸和田工場に依頼し製造した。

又、この機会を利用しボイラーの被覆板、断熱材を取外しボイラー外観検査を実施、結果は良好だった。但、ボイラー胴部分の被覆板に錆びて穴があいた箇所があったので新造し断熱材とともに新品と交換し併せて車体の全塗装を行なった。

※ 動輪の修整、軸箱の作製を除く他の工程は、当社職員の手により実施された。

JOHN SOUTHLAND II

車体の塗装が、色褪せ罅が入っている箇所もあるので車体の全塗装を実施した。

ディーゼルエンジンの使用時間は、17,000時間を超えたがこの間に発生したトラブルは燃料噴射装置のライジングバルブ1個が折れ新品と交換したのみだった。(修理費 部品代¥8000円のみ)

10,000時間を超えたころからエンジンオイルが減るようになったので最も粘性が高いオイルに変えたところ減らなくなった。

客車

客車は木造で壁材に使用されている合板は雨にかかると腐食し易いので防水の為、鉄板で被覆する作業を随時実施している。

伊豆への観光客は激減し、当園も厳しい経営状況にあるが創意工夫し経費の削減に動めている。

以上

団体名	大井川鉄道 株式会社	連絡先（住所・電話等） 〒428-0022静岡県榛原郡金谷町金谷1112-2 TEL 0547-45--4111 FAX 0547-45--4116
-----	---------------	--



復活したC108

《SL列車運転日》

- ◎年中無休（除1月1日、12/8～3/18の火、木）
- 〔区間〕金谷～千頭 金谷 11:50 発及び千頭 14:50 発
- 他に臨時多数、冬は御座敷列車付き
- 〔運賃等〕片道 1,810円 SL急行料金 560円

《近況・C10が復活、C10～C12が揃う》

- ◎昨年10月より、動態保存のSL陣にC108(昭和5年・川崎車両製)が加わり、本線用機は C11×2、C10、C56、C12(日本ナショナルトラスト所有)の陣容で運転中
- ◎今年2月28日から3月1日にわたり、沿線で全国SLフェスティバルを開催。全国の自治体、鉄道関係者がSLの保存、運行と地域の振興について討議をした。

- ◎昨年末、国家免許として若い26才のSL機関士が生まれた。
- ◎春のシーズン中に往年の国鉄特急のヘッドサイン各種を取り付けて運転をした。
- ◎5月30日にC56の引くジャズ列車を運転。
- ◎夏のイベントとして、アンパンマンワールドを開催。C11を特別のデザインで走らせ、千頭駅では5インチ軌間の9600形SLなどを運転。
- ◎昨年開業した展示館プラザロコで各種展示会、イベントを実施中。
- ◎スイス、台湾の姉妹鉄道訪問を毎年実施中。参加を歓迎。
今春、金谷近くの駅をスイス姉妹鉄道風に新築した。

《保修工事》

- ◎C11227 は動輪の磨耗のため動輪3対を取り替え、併せて各部の整備を行い、本年7月に出場した。これにより、動輪タイヤ・フランジとも充分な寸法となった。
- ◎オハ35149 号客車の更新修繕を実施した。
新型車両は軽量化され、長期保存が難しいが、旧形車両は外板が3,2tなどで長持ちできる。工事は大変であるが、原形の保持に努めている。



C1122の車輪入れ

アンパンマン仕様のC11

団体名	財団法人 博物館 明治村	連絡先（住所・電話等） 〒484 愛知県犬山市大字内山1番地 TEL (0568)67-0314 FAX (0568)67-0358
-----	------------------------	--



平成9年度明治村写真コンテスト入賞作品 「明治のSL」藤岡治行氏撮影

運行区間：明治村 東京 ～ 明治村 名古屋

営業里程：0.743km

最小曲線：R=160m

最急勾配：5/1000

橋 梁：3箇所（2径間アーチ橋1箇所を含む。）

トンネル：なし

保有車両：SL12号 イギリスのシャープ・スチュアート社が製造し、
明治7年に輸入された。（新橋～横浜間を走行）

SL 9号 アメリカのボールドウィン社が明治45年に製造した。
（富士身延鉄道が購入）

ハフ11号 明治41年 日本製（山形 高島鉄道）

ハフ13・14号 明治45年 日本製（新潟 羽後交通）

運 賃：大人（中学生以上）300円，小人（小学生）150円

運行時刻：名古屋発10時45分から、東京発10時55分から 30分間隔

（注）1. 休日は、増発運転します。

2. 冬期は、始発がそれぞれ30分遅れます。

運 休 日：12月31日（博物館休館日）

◎その他 S L 関連施設

レール：ロシア製 33 kg/m レール（昭和47年6月まで北陸鉄道能登線で使用）

枕 木：堅い栗材

釘：明治初期の犬釘（複製）

バラス：玉砂利を使用

給水柱：旧国鉄東海道線膳所駅で使用していたもの

転車台：尾西鉄道弥富駅で使用していたもの

[近況報告]

明治村では、鉄道の日記念イベントとして、動態展示中の蒸気機関車を使っての重連運転を一昨年から始め、昨年は10月11日（土）と12日（日）の2日間行いました。

前宣伝がよかったのか、明治村近辺はもとより遠方からも鉄道ファンのお客様がお越しになり、また当日入館の一般のお客様にも好評を得ました。

当日は、S L 沿線は、駅、ホームだけでなく途中の線路際まで写真を撮ろうとする写真マニアや鉄道マニアのお客様のみならず、重連運転を一度見ようとする一般のお客様で一杯になりました。

この重連運転を行うにあたっては、S L 運行に従事している担当者にとっても初めての経験であり、試行錯誤のうえ、初年度は一日2往復で運行し、その実績を踏まえ、昨年は終日運行に踏切りました。

今年も鉄道の日因んで、重連運転を10月10日（土）と11日（日）の2日間終日実施する予定です。

先頭車に S L 12号、後続に S L 9号の重連の勇姿をお楽しみください。勿論、客車3両を牽引していますので、重連運転の旅もご堪能いただけます。

《その他の鉄道関連保存展示物》

明治天皇御料車（鉄道記念物）

昭憲皇太后御料車（鉄道記念物）

蒸気動車（鉄道記念物）

尾西鉄道蒸気機関車1号

京都市電（動態保存中）

六郷川鉄橋

団体名 東海旅客鉄道株式会社		連絡先(住所・電話等) 〒450-0002 名古屋市中村区名駅一丁目3番4号 東海鉄道事業本部 車両部 管理課 TEL.052-564-2461
-------------------	--	---



新幹線0系先頭車両の展示を開始

1. 「トロッコファミリー」号の運転

- ① 営業運転日 平成10年3月21日(土)から11月23日(月)までの土曜、休日
(ただし、7月19日～8月31日は毎日運転)
- ② 運転区間 豊橋～中部天竜間(62.4km)
- ③ 運転本数 一日1往復
- ④ 運転時刻 豊橋 9:47 → 12:02 中部天竜
豊橋 16:35 ← 14:29 中部天竜
- ⑤ 車両編成 機関車、12系客車2両及びトロッコ車両2両
- ⑥ 発売方法 全車指定席、一ヶ月前から発売
- ⑦ その他 使用機関車は、ED18 2、EF58 122、EF58 157を使用

2. 「伊那松島運輸区撮影会」の開催

- ① 開催日 平成10年8月29日、30日
- ② 開催場所 伊那松島運輸区構内
- ③ その他 モハ1形、キハ58形、オハフ46等を展示

3. 佐久間レールパーク

- ① 開館日 土・休日、春休み、夏休み
- ② 開館時間 10:00～16:00
- ③ 場所 飯田線「中部天竜」駅構内
- ④ その他

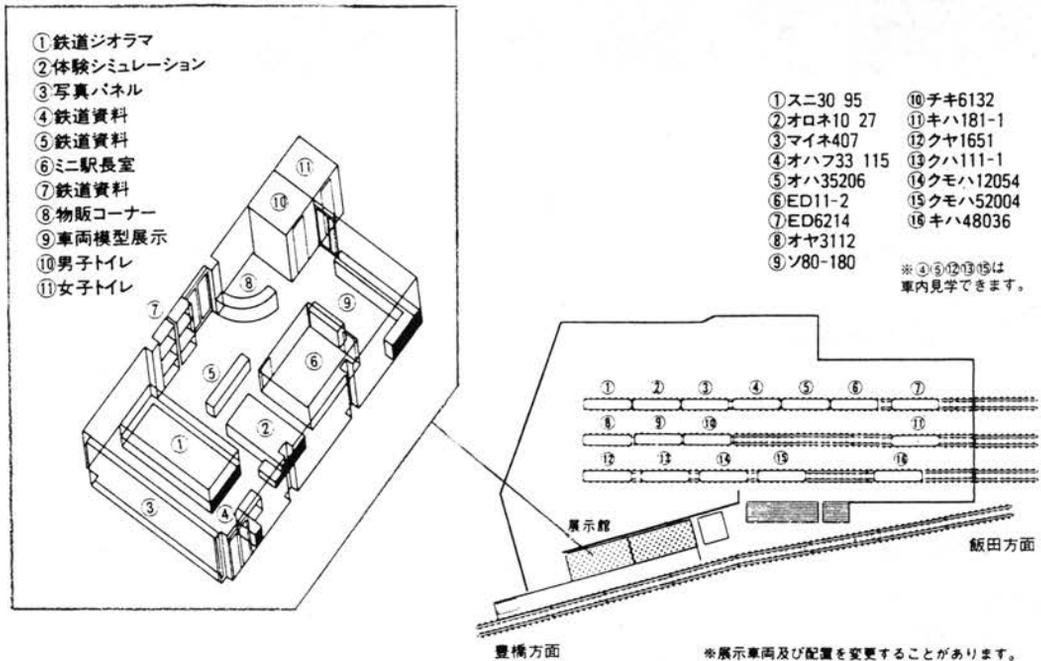
(1) 入場者数30万人を達成

佐久間レールパークは鉄道の夢とロマンをのせて走った貴重な車両を展示し、多くの方々に昔懐かしい車両に親しんでいただくため、平成3年3月にオープンしました。

以来、多くのお客様にお越しいただき、入場者数が7月30日(木)に30万人に達しました。

(2) 新幹線0系車両展示を開始

8月1日(金)より、東海道新幹線で開業以来親しまれている0系先頭車両を展示しております。運転席に座することも可能です。



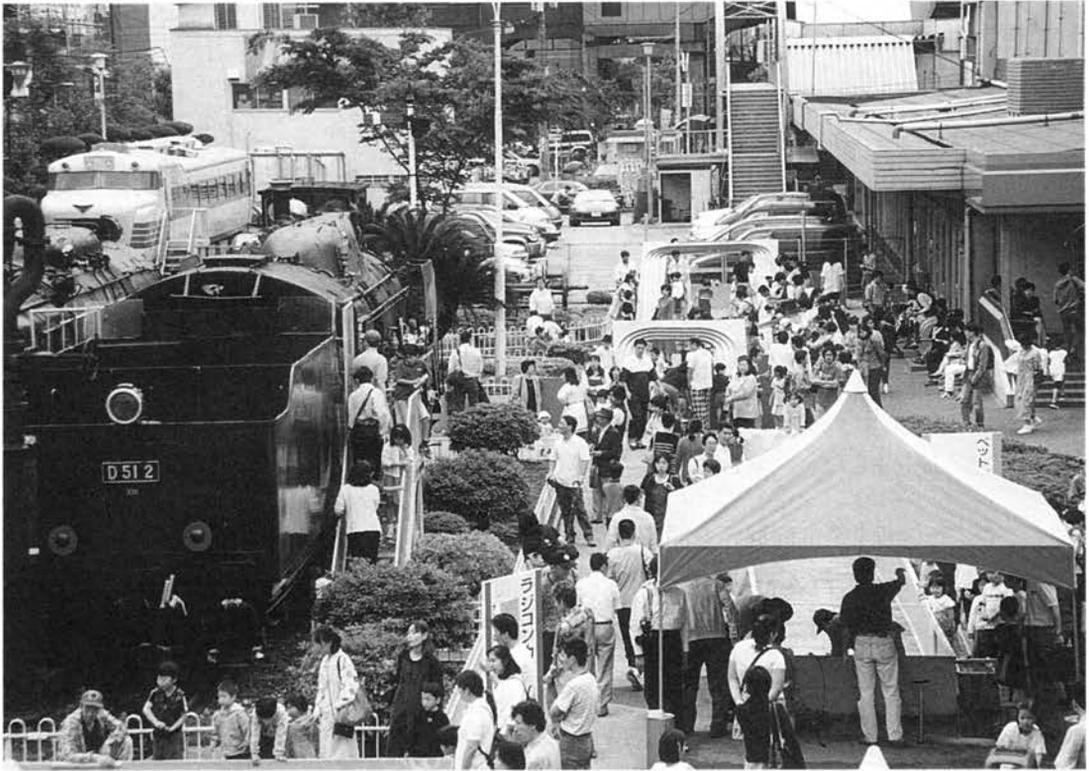
佐久間レールパーク館内案内図

団体名

西日本旅客鉄道株式会社
交通科学博物館
梅小路蒸気機関車館

連絡先
〒552-0001

(交通科学博物館)
大阪市港区波除3-11-10
☎06-581-5771



大にぎわいの「GWのりものおもちゃ大集合」

1998年9月以降の行事・催物予定（9月～11月）

交通科学博物館

- 第3回ミュージアムセミナー
「巡視船体験乗船会」
9/26
- 「模型で見る旅客機の歴史」展
9/5～10/4
- 義経号ふれあい広場
10/10、11、14
- 第4回ミュージアムセミナー
「鉄道史蹟見学会」
10/17
- 収蔵資料展
「吉田初三郎」
11/1～12/23

梅小路蒸気機関車館

- SL・超体験 in オータム
10/10～11・3
- SL館アートギャラリー
10/4～11/8

(近況報告)

1、交通科学博物館

(おもな催物・行事等の開催など)

GWのりものおもちゃ大集合

4・25~5・10

ミニ四駆グランプリ

5・10

モデルシップ「日本の客船」

6・16~7・26

近畿大学「第19回鉄道展」

6・27・28

ヨーク鉄道博物館ほか海外博物館の視察

4・20~29

英国ヨーク国立鉄道博物館、スイス交通博物館、ロンドン交通博物館等の視察をおこなった。

2、梅小路蒸気機関車館

(おもな催物・行事の開催等)

写真展「記念ヘッドマークで飾られたSL」

GW汽車ポッポフェスティバル

4/29~5/5

「宍戸コレクション」ーたのしい鉄道模型の世界

4/25~6/28



(交通科学博物館オリジナルテレカ)



(ヨーク鉄道博物館でのスナップ)

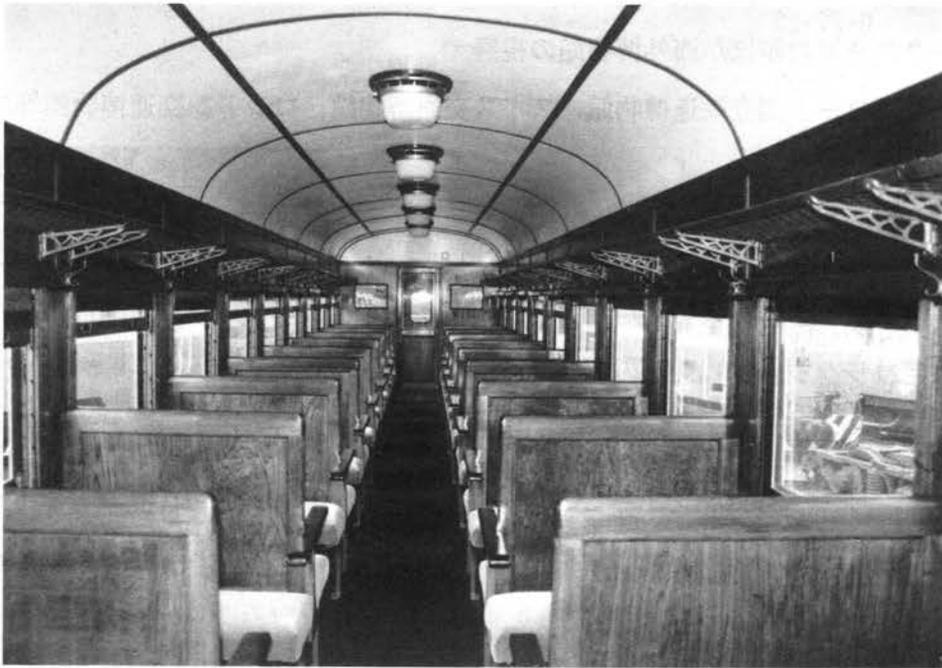
(話題)

交通科学博物館のミュージアム探検ツアーについて

保存車両を維持するため当館では実物鉄道車両は特別の日(鉄道の日等)を除いて非公開としています。が、内部を見学したい、触れてみたい、という入館者の声も多く苦慮しています。いかに保存上の問題といっても鉄道ファンにしてみれば不満であろうことは認識しています。

そこで、打開策のひとつとして、従来行なってきた「ミュージアム探検ツアー」のニューバージョンとして、実物車両を公開の上、解説案内するといった新しい形の探検ツアーを毎月第2・4土曜日におこない好評を得ています。当館学芸員がキハ81形DCやマロネフ59形寝台車、スシ28形食堂車といった往年の名車の由来や内部構造の説明などを行なっています。多い時は50人ほどの行列が出来、鉄道ファンばかりでなく老若男女の皆さんに親しんでもらっています。

団体名	カヤ興産株式会社 (加悦S L 広場)	連絡先 (住所・電話等) 〒629-24 京都府与謝郡加悦町字滝941-2 TEL 0772-42-3186 FAX 0072-43-0080
-----	------------------------	---



【 客室の修復が完了したキハ083 】

- 平成 9年 6月 より修復作業を行っていましたがキハ083の外周り及び客室が完成致しました。
洗面所・便所の修復を開始しましたが、詳細図面、局部写真が入手し難く苦勞しています。ご指導、ご教授をお願い致します。

キハー083 略歴

- 昭和30年 7月 盛岡工場にて鋼体化改造オハ62130として落成。
- 昭和37年 3月 苗穂工場にて気動車化改造キハ403となる。
- 昭和41年12月 キハ08に形式変更 キハ083となる。
- 昭和46年 8月 釧路機関区にて廃車。加悦鉄道が譲受、洗面所・便所を撤去し荷物室に改造。
- 昭和60年 4月 加悦鉄道の営業廃止に伴い休車。

■ 模型火室投炭練習器 の整備が完了

- ・ 機関助手見習となった者が、機関車に添乗して実地見習をするに先立ち 機関車焚火の基本動作、火床の理想的形成方法等の訓練を行う練習器。
- ・ 昭和53年 当時の国鉄福知山管理局より譲り受けたものを、今回修理、復元しました。(D50タイプ)
- ・ 訓練マニュアルを探しています。ご協力をお願い致します。

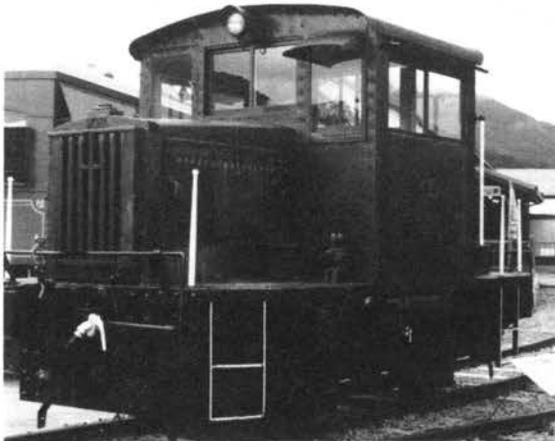


・ 福知山機関区の訓練成績表黒板

機関車模型火室投炭成績															福知山機関区												
順 氏 序 名	火 床				速 度		方 式				動 作				総成績												
	名 超 過 線 杯 数 減 点	埋 入 線 杯 数 減 点	没 入 線 杯 数 減 点	終 了 後 対 面 積 減 点	合 計 減 点	実 際 得 点	時 間 延 秒 減 点	短 秒 減 点	過 不 足 杯 数 減 点	合 計 減 点	実 際 得 点	順 序 誤 回 数 減 点	散 乱 炭 坩 減 点	ア チ 載 炭 坩 減 点	掬 量 不 同 回 数 減 点	合 計 減 点	実 際 得 点	鎖 不 放 回 数 減 点	シ ヨ ベ ル 刃 先 当 回 数 減 点	柄 焚 口 入 回 数 減 点	落 下 状 態 回 数 減 点	合 計 減 点	実 際 得 点	平 均 得 点	成 績 序 位		

■ 動態化計画

当SL広場には、現在DL2輛を動態保存しています。
、(S38製日立15吨、S36製富士重10吨)



昭和28年製(株)森製作所の“DB201”のエンジンを調査した結果、修理可能との結論がでましたので今秋より整備を開始する予定です。

団体名 なつかしの 尾小屋鉄道を守る会		連絡先（住所・電話等） 〒923-0302石川県小松市符津町念仏3-1 小松県立児童会館内 TEL 0761-43--1075 FAX 0761-43--1076
---------------------------	--	--



改修を終えて富山県の工場から帰ってきたキハ1

○なかよし鉄道運転日

火・水	土	日
—	—	11:00
—	14:30	14:30
16:00	16:00	14:30

*休館日

- ・毎週月曜日・毎月第3日曜日
- ・国民の祝日（子どもの日を除く）
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

- ・学校休暇中は毎日運転（休館日を除く）
- ・冬期間（12月上旬～3月下旬）運休
ただし、団体については、希望により臨時運転

○運行区間 粟津公園内473メートル往復

○運行車両

ディーゼル機関車	DC121
ディーゼル客車	キハ 1
客 車	ホハフ3
客 車	ホハフ8

*通常はキハ1で運転。団体など人の多い時はDC121にホハフ3かホハフ8を連結運転

○料金 無料

○近況報告

昨年12月19日にキハ1のトルコン化改修工事のため、車輛を富山県の工場に移送し3月20日に無事改修を終えて帰ってきました。マニュアルの時は大体2年でギアの磨耗などで修理が必要で大変でしたが、その心配がなくなりました。ただ、なるべく原形を変えない方法がよいのですが、実際、動態保存の立場からでは管理上困難なことも多いのが悩みです。

また、キハ1は旧尾小屋鉄道を走っていた当時の色に近づけるため、塗装もやり直しました。リフレッシュされた車輛がスムーズに走る近頃です。

団
体
名

馬路森林鉄道を走らす会
魚梁瀬森林鉄道を守る会

〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路440-2番地
事務局（馬路村商工会内）
Tel.08874-4-2108 Fax08874-4-2108



酒井工作所製機関車「森林鉄道の村・馬路」に、東京営林局水窪営林署で使用されていた酒井工作所ガソリン機関車が、天竜林業高校を経て平成9年動態保存で仲間入り。かつての線路後に再びレールが引かれ、トンネルと橋の間を走る。

1998年度「馬路村の森林鉄道」運転日

魚梁瀬森林鉄道（会員6名で運営）

【場 所】高知県安芸郡馬路村魚梁瀬（魚梁瀬丸山公園内）

【運転日】年間通じて日曜日及び祝日に運転（8月は土曜日・正月3日間特別運転）

【乗車料金】大人400円 小人200円

【保有車両】野村式森林鉄道機関車1両 谷村式森林鉄道機関車1両

岩手富士特殊軽量機関車1両 木造客車1両

貨車2両 トロッコ2両

【運転距離】400m

馬路森林鉄道（会員24名で運営）

【場 所】高知県安芸郡馬路村馬路（馬路温泉前）

【運転日】年間通じて日曜日及び祝日に運転（8月は毎日、正月は3日間特別運転）

【乗車料金】機関車、ケーブルカー共、大人300円 小人200円

【保有車両】ディーゼル機関車（ポーター蒸気機関車の縮尺型）

トロッコ3両

水力式ケーブルカー〔インクライン〕（勾配34度・斜長92.2m）

【運転距離】300m

〔近状報告〕

- 1997年7月・天竜林業高校より酒井C16型森林鉄道機関車を譲り受ける。
9月・馬路森林鉄道走らす会、大井川鉄道・井川線へ視察研修（18名）
11月・酒井C16型森林鉄道機関車を修復し、馬路村入り口トンネルに動態保存をする（昼間は外に出して展示を行い夜はトンネルに入れる）
・けいてつ協会のメンバー外森林鉄道鉄道マニアと情報交流会
- 1998年1月・馬路森林鉄道走らす会が高知県観光振興推進協議会より「観光マインド優秀団体表彰」を受ける。
3月・馬路森林鉄道に信号機を取り付ける（出発・遠方・場内信号機）
3月・UDL坑内機関車を譲り受け馬路森林鉄道に展示。
3月・魚梁瀬営林署より魚梁瀬森林鉄道で走っていたポーター蒸気機関車の車輪3個譲り受け馬路森林鉄道駅舎に展示。
5月・森林鉄道絵はがき（6枚セット）発売（1セット400円）



〔これからの馬路村林鉄への取組〕

魚梁瀬森林鉄道の機関車揃い踏み

馬路村の森林鉄道は、昭和63年に復元運動がスタートし、上松町と丸瀬布町の林鉄を目標に取り組んできました。

機関車の保有台数は5台まで増やす事が出来ましたが、鉄道は地形的に恵まれない事もあって、十分な整備が出来ないまま今日に至っています。

今年で運動が11年目を迎えた事を契機に、逆に、立地条件の悪さを利用して、距離は短くても、ユニークな路線づくりを目指す事になりました。

馬路森林鉄道で検討している案は、インクライン（水力ケーブルカー）の展望台より山の中腹の傾斜面に栈道方式によって線路を敷設する案。もう一案は、現在の駅舎を起点に谷沿いに距離を延長する案（この場合勾配がきつくなるのでスイッチバック方式等を採用す）現在この2案が浮上しており、本年度中にどの案にするか決定し、来年度より計画を実施に移して行く予定です。またヤナセ森林鉄道では、駅舎の位置の変更と、ダム湖畔への延長を再度検討しています。

団体名	九州旅客鉄道株式会社	連絡先（住所・電話等） 〒 812-8856 福岡市博多区博多駅中央街 1-1 TEL 092-474-2541 FAX 092-474-3898
-----	------------	---



OSL (あそBOY) の現状について

昭和63年8月28日、熊本～宮地間にSL（あそBOY）が復活運転を開始して早くも11年目を迎えることが出来ました。
ここで、SL運転の現状について、乗車効率の面から振り返ってみました。

●乗車効率の推移

- ・昭和63年度は、折からの「SLブーム」に話題性が加わり、90.0%と高い乗車効率でした。
- ・平成元年度以降、毎年200日を超すSL運転を行い、「デュランゴ・シルバートン狭軌鉄道」との姉妹提携、「SLグルメツアー」など様々な営業施策を実施してきましたが、乗車効率は次第に落ち込み平成4年度には59.0%まで低下しました。
- ・平成5年度以降は、「土・日曜日」や「GW・春夏休み」の運転に変更し、平成6年度以降は70.0%まで回復しました。
- ・「乗車効率」は、平成8年度は若干落ち込みましたが、9年度は回復しています。

年 度	63	元年	2年	3年	4年	6年	7年	8年	9年
運転日数（日）	103	215	205	231	239	116	104	110	119
乗車効率（%）	90	74	66	62	59	72	78	74	77

○最近の話題

●BBC（英国放送）の取材

- ・番組名：「素晴らしい日本鉄道の旅（九州編）」のメインとして紹介
- ・取材日：平成10年5月10日
※熊本～宮地間で車内外での撮影を実施
- ・放送予定：今年の年末か来春の放送予定

●映画「大いなる完」での撮影

- ・取材日：平成10年6月30日
※臨時で運転（貸切）
- ・内容：漫画家 本宮ひろ志氏原作で、故田中角栄氏をモデルに描きおろした作品
- ・上映予定：今年の秋頃の上映予定

○SL（あそBOY）のあれこれ

JR九州ではながく人々に愛され親しまれてきたSL（蒸気機関車）のに復活を望む声にお応えして、昭和63年8月、九州・豊肥本線を中心に営業を開始しました。

SLの愛称は、一般から募集し、世界最大のカルデラ式火山“阿蘇”の麓を駆けるに相応しく「あそBOY」と命名しました。古き良きアメリカ風の客車（3両）を牽引して走っています。九州でのSLの復活は、昭和50年以来13年ぶりのできごとです。

また、このSL・8620形式が機関車の発展史上、形態的にはダークグリーンなどの美しい色を主流にした欧米からの輸入機関車の流れを汲んでいることから、平成4年3月21日、ダークグリーンに化粧直しを行っています。

58654号蒸気機関車の概要

この蒸気機関車は大正11年日立製作所で制作され、昭和50年3月9日最後の運転までの間、九州各地で活躍しました。その間の走行距離は334万キロです。

廃車後は熊本県人吉市矢岳駅前の人吉市SL展示館に保存展示されていたものをJR九州小倉工場で修復したものです。

●経歴

・新製	大正11年11月	日立製作所
・配置	大正11年11月	浦上機関区
	大正15年2月	若松機関区
	⋮	
	昭和43年6月	人吉機関区
・廃車	昭和50年3月	

●諸元

・長さ	16.8m	・馬力	630ps
・高さ	3.9m	・速度	90km/h
・重量	機関車重量 48.8t	・蒸気圧力	13.0kg/cm ²
	炭水車重量 37.4t	・動輪直径	1600mm

団体名	鹿児島県 屋久町	連絡先 〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間157番地 屋久町役場 企画調整課 TEL 09974-7-2111 FAX 09974-7-2117
-----	----------	--

屋久島森林鉄道計画の概要について

1. 経緯と現況

現存する森林軌道は、「森林鉄道二級・安房林道」として大正11年に着工、翌12年に完成したもので、国有林野事業の最盛期には総延長26Kmにも及んだ。

昭和44年、小杉谷地区の事業の終了とともに、木材搬出のためのトロッコ運搬の軌道としての役割を終えた。現在では、旧苗畑（起点）～荒川間(10.9Km)を屋久島電工(株)が発電所の管理のため、また、荒川～みだれ橋間(5.3Km)を屋久島営林署が公有林野の管理のためそれぞれ使用している。

2. 計画進行上の基本的な考え方

この森林鉄道は、歴史的には屋久島森林開発の軌跡であり、唯一、国内に現存する林用軌道で、その保存については屋久島の産業史を知る上からも文化財的価値が高い。また、屋久島が平成5年12月に世界自然遺産として登録されたことなどにより島の自然環境への関心は更に高まり、特に近年、国内外からその重要性が注目され、論じられている。

については、次のことを基本に計画を推進していきたい。

- この森林軌道を貴重な産業・文化遺産として捉え、改修・利活用することによって、後世まで動態保存していく。そして動態保存にあたっては、縄文杉等へ近づくための輸送手段ではなく、この森林鉄道に乗ること自体を環境学習の場として位置づけられるよう、つまり「動く環境教室」としての機能を持たせることに重点を置く。
- 国立公園内の施設でもあるので、しっかりとした施設整備を目指し、現況に限りなく近い状態で運行できるようにし、自然環境を保全するためにも運行システム等において全国的にもモデル的役割を果たし得る新しいスタイルの施設づくりを目指す。

3. 今後の計画の進め方

昭和63年以来、観光用トロッコとしての実現に向け、いろいろと模索してきたが抱える課題も多いことからなかなか先に進まない状況にあった。今年（令和5年）の4月、国が鉄道法の規制緩和に取り組んでおり、来年度には改正される見込みであるとの明るい情報を得た。また、来年は本町の町制施行40周年を迎えることから、まず会員制でこの事業をスタートさせるべく手法を検討し、その後、鉄道法との整合性を図りながら、更に屋久島にふさわしい森林鉄道へと進めていきたい。

軌道沿線のすばらしい景観



屋久島電工(株)の唯一の現役機関車（5-D-5・昭和53年4月北陸重機製造）